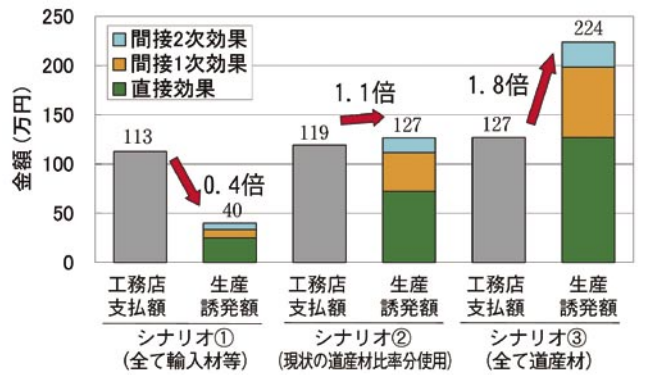


道産材使うと経済効果up

住宅1棟で184万円 林産試が輸入材等と比較



在来木造住宅1棟あたりの経済効果 (生産誘発額)

道総研・林産試験場で「住宅に道産材使用による経済効果を試算。それによると、構造材をすべて輸入材等から道産材にした場合、工務店のコストは14万円増えるもの

の、それにとまなう道内の経済効果は生産額で184万円にのぼることが明らかになった。この研究では、道内で建設される戸建ての在来木造住宅(39坪)を対象とし、製材・集成材・構造用合板合計21㎡の構造材が①すべて輸入材や本

州産の材料②現状の道産材自給率と同じ割合だけ道産材を使い、他は輸入材等③すべて道産材という3つのシナリオごとに、道内生産額(生産誘発額)がどの程度になるのか、雇用者数がどれだけ増えるのかを分析。それによると、住宅1

棟あたりの道内生産額は①のシナリオが40万円、②で119万円、③で127万円と増加。道産材使用量と比例して道内生産額も増加。構造材すべてを輸入材等から道産材に変更した場合、14万円のコストアップで184万円の経済効果が得られることになる。

間接効果生かすには 自治体の補助金など

特に道産材使用による間接的な効果で、産業部門では道産材の丸太生産などを行う素材部門や森林の手入れなどを行う育林部門の生産額が大きく増加(間接一次効果)。さらに道産材にかかわる産業で働く人の所得増加などで、住宅賃貸関連部門や娯楽などの対個人サービス部門、商業部門などの生産額も上がることになる(間接二次効果)。

特に、平成20年度に新築着工した道内の在来木造戸建住宅8550棟がシナリオ②からシナリオ③になったと仮定すると、構造材への工務店支払額は合計で6億5千万円増えるもの、道内生産額は83億円、雇用者は684人、それぞれ増加することになる。

同試験場利用部マテリアルグループの古俣寛隆氏は「当初考えていたよりも経済効果があると思う。道産材の使用は輸入材との価格差がネックとなるので、自治体の補助金や金融機関の金利優遇といった協力が必要になってくるが、それらの支援を実施する根拠として今回の研究結果が活用できるのでは」と話しており、今後は内装材や他の建材等も含めて総合的な検討も行う予定だ。

恵庭まちづくり協

田園住宅地を分譲

ガーデンニング暮らし提案



区画図。1つ1つがゆとりを持った広さを持つ



完成イメージ図。勾配屋根や外壁に一定割合以上木を使うことなどが表されている

恵庭まちづくり協同組合(旧恵庭建設業組合、玉川豊理事長)は、恵庭市中心にある2万4千㎡

あまりの元市有地を全30区画の宅地に造成して「ブレスドガーデン恵庭」として今年1月から販売を開始した。恵庭市の「花の田園住宅構想」に基づく土地分譲で、販

売初日で4区画の予約が入るなど、出足は好調だという。造成は7月末の完成を目指して工事が進んでいる。

ブレスドガーデン恵庭はJR恵庭駅南約3kmに位置する田園地帯。市では、花の田園住宅構想に基づいて優良田園住宅として開発を計画。優秀な提案をした事業者に売却するため公募し、恵庭まちづくり協同組合が最優秀提案者に選ばれた。

恵庭市の花の田園住宅構想は、「ガーデンニングを通じた良質な住まいづくり」を前面に打ち出している。周辺の自然環境や田園地帯との調和に加え、居住者の花づくりで恵庭の地域振興を図り、ガーデンニングという共通の楽しみを通じて良好なコミュニティが形成され、恵庭の今後の街づくりのモデルとなることを目指している。

建築ガイドラインには、推奨外観色の設定や勾配屋根の採用に加え、外観の一部に木を使うことや、視界をさえぎる塀・垣根などは設置できないことなどが規定され、統一感ある街並み形成を目指している。



たくさんのオーナーが登場するトップページ



多彩なコンテンツ

ブレスドガーデン恵庭は、全30区画で1区画あたりの敷地面積は約160坪〜270坪、販売価格は624万円〜1014万円。

住宅建築は(株)キクザワ、(株)宮崎組など同組合に加入する8社が指定され、設計・造園は市内の6社が推奨されている。

同組合総務課長の溝部義利氏は、「恵庭の将来の街づくりのモデルになるため、恵庭市、恵庭市商工会議所とも最大限連携しながら進めていきたい」と話している。

ブレスドガーデン恵庭は、全30区画で1区画あたりの敷地面積は約160坪〜270坪、販売価格は624万円〜1014万円。

ブレスドガーデン恵庭は、全30区画で1区画あたりの敷地面積は約160坪〜270坪、販売価格は624万円〜1014万円。

ブレスドガーデン恵庭は、全30区画で1区画あたりの敷地面積は約160坪〜270坪、販売価格は624万円〜1014万円。

ブレスドガーデン恵庭は、全30区画で1区画あたりの敷地面積は約160坪〜270坪、販売価格は624万円〜1014万円。

ブレスドガーデン恵庭は、全30区画で1区画あたりの敷地面積は約160坪〜270坪、販売価格は624万円〜1014万円。

優秀サイトを訪ねて

社長みずから指揮

自分のほうが住宅を知っている

検索エンジン「Google」で「工務店 住 介、工法などの提案、よ宅」というキーワードで検索してみると(株)三友工務店が1頁目に表示されている。社長と社員の早速サイトを見ると、インビジュアルで大きくのオーナーとの出会いの写真、室内のイメージ写真と家づくりのわかりやすいキャッチコピーが表示される。

トップページは、アイコンが整然と並び短い文字と写真の組み合わせで見やすく表示されている。早速取材をしてみると、サイト設計やコンテンツ作りなどに関しては古閑之博社長が自ら指揮をしていることがわかった。「ウェブ制作会社よりも私の方が住宅や工務店は、現場見学会のチラシ

熊本・三友工務店
http://www.sanyu-k.jp/

工務店にとって集客や受注、ファンづくりのためにウェブサイトの充実が最低条件ともいえる。そこで本紙では、全国各地の優秀な工務店のウェブサイトを連載で紹介していく。

第1回は熊本の(株)三友工務店。

オーナーとの座談会